

G OVERNOR'S MONTHLY LETTER

国際ロータリー第2830地区 2025-26 ガバナー月信

No.6 **12** DECEMBER



むつロータリークラブ創立65周年記念事業 2025年11月2日(日)



八戸西ロータリークラブ創立10周年 2025年11月8日(土)



八戸ロータリークラブ創立70周年 2025年11月15日(土)

contents

1. ガバナーメッセージ
5. ロータリー特別月間
6. ロータリー研究会報告
9. 委員会活動
12. 各クラブの動き
18. ガバナー公式訪問に同行して
22. 会員動向
23. 会員数の増減と出席率
24. 地区行事予定
26. ロータリー活動写真募集
26. 編集後記

よいことのために
手を取りあおう

ロータリーの
不易流行

国際ロータリー第2830地区事務所
〒030-0812 青森市堤町1丁目1-23 ホテル青森内
TEL.017-732-2830 / FAX.017-732-2831
E-MAIL rid2830@outlook.jp

ガバナーメッセージ

ガバナー 米谷 恵司

11月16日RI第2770地区(埼玉南東)大会二日目に参加して参りました。熊本ガバナーは同期ガバナーの中で最年少の53歳でちょうど私より一回り若いガバナーです。2770地区は10年前2015-16年度鈴木ガバナー年度にRI会長代理として来て頂いた岩淵 均PGの所属地区でもあります。また、私が所属している青森モーニングロータリークラブの姉妹クラブ川口モーニングロータリークラブの地区でもあり、川口モーニングロータリークラブは二人の地区ガバナー輩出クラブでもあります。地区大会では久しぶりに川口モーニングロータリークラブ会員とも懇親を深めさせて頂きました。次の日17日から20日までパシフィコ横浜にてロータリー研究会が開催されました。当地区からはパートナーも含め14名参加致しました。日本から著名なパストガバナー、シニアリーダーが一堂に会する場であり、国際ロータリー会長も参加するという何とも豪華な大会です。私はRI委員長時代に一度、そしてガバナーノミニデジグネートに就任以来毎年参加しており、そこで交換した名刺は100枚程になります。ロータリー研究会の目的は、ロータリーの理念・歴史・活動をより深く理解し、その本質を探究することによって、会員の資質向上とクラブの活性化を図ることにあります。もう少し具体的に説明すると、次のような目的が挙げられます。

◆ロータリー研究会の主な目的

1. ロータリーの理念と精神の理解深化

ロータリーの創立理念(「超我の奉仕」や「四つのテスト」など)や目的を学び、現代社会の中でどのように実践できるかを考える。

2. 歴史と原点の探求

ロータリー運動の発展過程、創立者ポール・ハリスの思想、国際ロータリーの変遷を学び、原点回帰の意義を確認する。

3. クラブ運営・奉仕活動の質的向上

効果的なクラブ運営や奉仕プロジェクトのあり方を研究し、実践に役立てる。

4. 会員のリーダーシップ育成

ロータリアンとしての自覚と責任感を高め、将来のクラブリーダーを育てる場とする。

5. クラブ間・地区内の交流促進

研究会を通じて他クラブの事例や考え方を学び、相互理解と親睦を深める。

6. ロータリーの未来への提言

社会情勢の変化に対応しながら、次世代にふさわしいロータリー活動の方向性を探る。

つまり、ロータリー研究会は「学び」と「共有」を通じて、ロータリアン一人ひとりがロータリーの精神を再確認し、行動に結びつけるための場です。地区内のロータリアンの皆様是非とも参加して感動を味わって頂きたいと考えております。まだ参加したことのない方は是非とも参加してみたいはいかがでしょうか？

今年度は地区内クラブの周年行事が目白押しの年度で9月27日弘前ロータリークラブ70周年。11月1日むつロータリークラブ65周年。11月8日八戸西ロータリークラブ10周年。11月15日八戸ロータリークラブ70周年。2月14日八戸東ロータリークラブ65周年。3月15日野辺地ロータリークラブ60周年。4月11日青森北東ロータリークラブ60周年。6月6日六ヶ所ロータリークラブ30周年。6月20日八戸中央ロータリークラブ40周年、6月27日七戸ロータリークラブ60周年と続きます。私に案内が届いているだけでなんと10クラブになります。周年行事を開催しないクラブを含めると12を超えるクラブが記念すべき節目の誕生日を迎えるわけです。これを機に大いに団結してクラブの活性化を図って頂けるものと信じております。



さて、地区内40クラブ公式訪問において私が今年の1月に合気道七段位に昇段したことをご紹介いたしました。そして地区大会大懇親会では演武披露もさせて頂きました。私に七段を与えていただいた方は合気道 植芝守央(もりてる)道主であります。植芝家は宗家、家元となっており、現道主が三代目になります。その道主もロータリアン(東京麹町ロータリークラブ)であるという事は公式訪問の際ご紹介させて頂きました。その植芝守央道主の旭日小綬章授賞祝賀会が11月9日、東京新宿「京王プラザホテル」にて開催されました。私は青森県を代表して出席して参りました。1,100名を超える出席者で海外からも大勢の参加があり大いに喜びを分かち合いました。その褒章や叙勲について解説させていただきます。



叙勲(じょくん)・褒章(ほうしょう)は、日本において国家や社会に対して功績を挙げた人を顕彰する制度で、内閣府が所管し、天皇陛下から授与されます。以下で分かりやすく整理します👉

🎖️【叙勲(じょくん)】

国家や公共への長年の功績を称えるもので、**公務員・企業経営者・教育者・社会奉仕者**などが対象です。通常は「春(4月29日)」「秋(11月3日)」の年2回発令されます。

主な勲章の種類と対象

勲章	主な対象	特徴
旭日章 (きよくじつしょう)	政治・経済・社会・教育・文化・地域などで功労のある人	民間人に広く授与される。旭日の光をデザイン。
瑞宝章 (ずいほうしょう)	公務員など、長年にわたり職務に精励した人	教職員や行政職などに多い。勲章中央に瑞雲の文様。
桐花大綬章 (とうかだいじゅしょう)	特に国家に功績のあった人	国会議員や閣僚経験者などに授与。最高位クラス。
文化勲章	学術・芸術など文化発展に寄与した人	ノーベル賞受賞者なども対象。文化の日(11月3日)に授与。

勲等の序列(例:旭日章の場合)

1.旭日大綬章 2.旭日重光章 3.旭日中綬章 4.旭日小綬章 5.旭日双光章 6.旭日単光章

🌸【褒章(ほうしょう)】

特定の行為・善行・寄付・功績などをたたえるもので、年2回(春・秋)に授与されます。叙勲よりも広範で、民間の功績者やボランティア、善行者などが多く対象になります。

主な褒章の種類

褒章	内容
紫綬褒章(しじゅほうしょう)	学術・芸術・スポーツ・技術などで優れた業績を挙げた人(例:ノーベル賞、芸術家、発明家など)
黄綬褒章(おうじゅほうしょう)	仕事に誠実に精励し、他の模範となる人(例:職人、経営者、技術者など)
藍綬褒章(らんじゅほうしょう)	社会福祉・教育・医療・地域貢献など公益活動に功績のある人
緑綬褒章(りよくじゅほうしょう)	ボランティア・寄付などの善行を長年続けた人
紅綬褒章(こうじゅほうしょう)	人命救助などで特に勇敢な行為をした人
黒綬褒章(こくじゅほうしょう)	(現在は廃止)過去に存在したもの。犯罪者更生支援など。

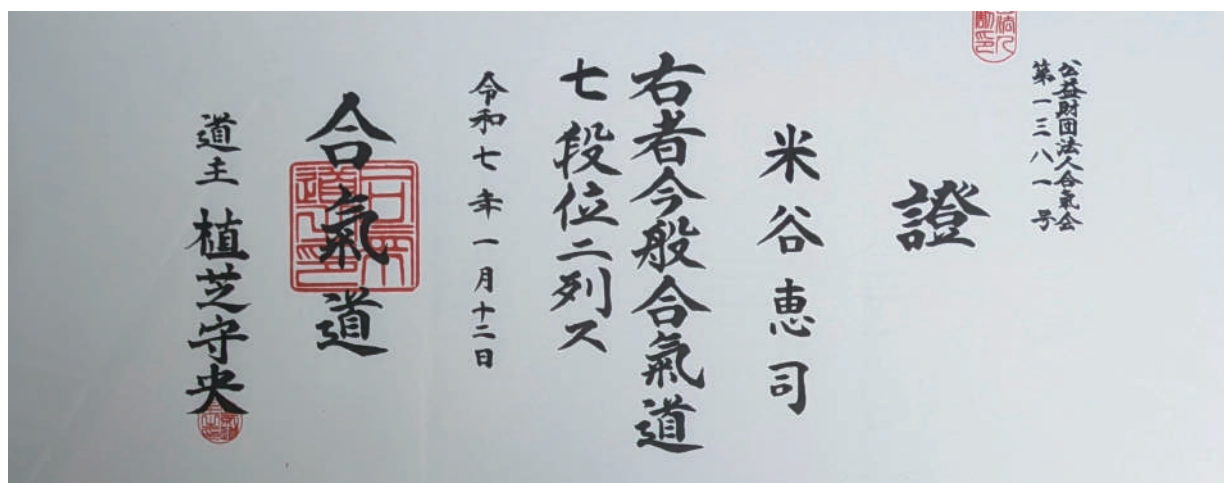
【受章者の発表と伝達】

- ・発令日：春は4月29日(昭和の日)、秋は11月3日(文化の日)
- ・発表方法：官報、報道発表など
- ・伝達式：都道府県庁などで行われ、勲記(賞状)と勲章が手渡されます。

【叙勲・褒章の違いまとめ】

項 目	叙 勲	褒 章
対象	国家・公共への長年の功績	特定の行為・善行・寄附など
授与回数	年2回(春・秋)	年2回(春・秋)
授与者	天皇(内閣府を通じて)	天皇(内閣府を通じて)
勲章名	旭日章・瑞宝章など	紫綬・黄綬・藍綬・緑綬・紅綬など
性格	長年の功労を評価	特定の成果や行為を評価

そしてロータリアンで叙勲・褒章を受けた方は多数いらっしゃいますが、ロータリアンであればおのずとした米山梅吉氏も「紺綬褒章受章」と記録が残っています。皆様も世界でよいことをされている人間としてこの栄誉は夢ではないと思います。



さて、今月は「疾病予防と治療月間」です。2014年10月RI理事会は、12月を重点分野：「疾病予防と治療月間」としました。地域社会の医療従事者の能力向上、伝染病の伝播を食い止め、非伝染病とそれによる合併症を減らすための、疾病予防プログラム、地域社会の医療インフラの改善、疾病の蔓延を防止する事を目的とした、地域社会への教育と地域動員、疾病または怪我によって引き起こされる身体障害の予防、疾病予防と治療に関連した仕事に従事することを目指す専門職業人の為の奨学金支援を強調する月間です。

疾病予防と治療月間によせて

青森モーニングロータリークラブ 会長 坂井 哲博
(青森RC)

2023年、2024年に第2830地区チームポリオでパキスタンでのワクチン投与活動に参加しました。その際にチーム員ともども深く「きれいな水」について考えさせられました。ポリオ根絶を目指すワクチン投与活動と並行して行う水プロジェクトの重要性です。

人から人にしか感染しないポリオの特殊性、根絶することの重要性から、継続してワクチン投与活動は続けなければなりません。一方、汚染された水を飲まざるを得ない現状では、慢性下痢症、夥しい種類の感染症で多くの子供が命を落としているのです。きれいな水の提供は、食糧支援やポリオ対策への資金より遥かに少額で行えます。

マイロータリーで水プロジェクトを成功させる9つのヒントとしてアップされています。もちろん発展途上地域を視野に入れたものですが、しっかり理解しておくべきこととしてまとめてみました。

1. 5歳未満では、エイズ、マラリア、はしかで亡くなる子供より、汚染された水による下痢疾患によって命を落とす子供のほうが多い。



2. 汚染された水による慢性的な下痢ではきれいな水が得られない限り、十分な栄養を摂取できません。食糧支援の方がきれいな水の提供よりはるかに多額の資金が必要です。きれいな水の提供から始める必要があります。



3. 水や衛生へのアクセスが改善されれば女性や少女の識字率の大きな改善が期待できます。水汲みの必要がなくなることで十分な衛生設備があれば安心して学校に通えるからです。きれいな水があれば下痢での欠席率が激減します。

4. 衛生状態の改善に1ドル費やせば9ドルの経済発展が望めます。労働者の生産性向上、医療費の削減、観光業の発展によるためです。



5. インドを例に出すまでもなく、発展途上地域の都市部では屋外排泄の習慣により、せっかく水道施設があっても排せつ物によって水が汚染されています。時間をかけてでも人々の行動を変革させる必要があります。

ロータリー研究会報告

第54回ロータリー研究会へ参加して

インタラクティブ委員長 **松山 隆志**
(野辺地RC)

11月19・20日、横浜市パシフィコ横浜にて開催された第54回ロータリー研究会へ参加いたしました。この会合は、ゾーン1 A、2 & 3 に在籍するロータリーリーダーに最新のロータリー情報を提供するとともに、意見交換や懇親の場として個々の研鑽をはかるため年一回開催されているものです。当地区からは米谷ガバナーをはじめ13名のPG、GE、GN、地区委員長の方々が参加いたしました。研究会は各種委員会開催も含め11月17日からの4日間開催でしたが、私自身は後半2日間の参加でした。

参加第1日目、開会式では点鐘、国歌斉唱に続いて招集者でもある水野RI理事によるRI理事会の現況報告がありました。現時点でのRIの動きについて画像を駆使し細かな点まで丁寧な説明をして頂きました。RIの最優先事項は「ポリオの根絶」と「会員増強」のふたつです。あと一歩と信じていたポリオの根絶ですが、直近では新たな発症も散見されるとのこと。ロータリアン一人一人への更なる協力を呼びかけていました。会員増強についてはロータリーの組織力の充実のため、現在116万人弱の会員数を2030年までに125万人に増強する目標を強く訴えていました。また、最新のトピックとして2025年1月米国トランプ大統領があらゆる政府機関から「DEI」を終了する大統領令に署名したことを受け、RIのDEI諮問会議は「参加者エンゲージメント向上委員会(Enhancing Participant Engagement Committee)」に改称され、地区レベルの委員会もこの新たな焦点を反映した名称・役割へと移行する...と決定されたようです。当地区でもDEIについては積極的に取り組んでおり、個人的にも非常に興味のある話題だったので大いに印象に残りました。報告の中にはRI会長指名委員会報告もあり、次期RI会長としてアメリカのラリーA・ランスフォード氏が指名されたとの報告もありました。

開会式に続き現RI会長フランチェスコ・アレツツォ氏による基調講演「UNITE FOR GOOD」を聴講しました。混沌とした世界において、ポリオ撲滅活動に代表されるロータリーの各種活動こそが団結と光明をもたらすもの...と身振り手振りを入れながら精力的にお話していました。同時通訳で内容等もよく伝わりました。

ホルガー・クナークTRF管理委員長は、より積極的なロータリー活動を推進するためにはその原資となる「寄付」を是非お願いしたいと強く訴えていました。

この後、ロータリー日本財団、米山記念奨学会、RIJYEM等の国内各部門の報告があり、昼食をはさんで「会員増強」「ロータリークラブの活性化と会員増強」「行動計画とクラブ活性化」「寄付文化の変革」のそれぞれをテーマにセッションが行われました。この中で興味深かったのは、大手メーカーの社長さんが自身の学生時代の恩を元に「未来ある学生に役立ててほしい」と多額(半端ない金額)の寄付を続けている「思い」を自身の口からお話ししてくれたことでした。ともすれば消極的になりそうな「寄付」に対す

る日本人の意識を積極性を持ったものに変革していくべきとの考えを話していました。

第2日目は2026 年6 月開催予定の台北国際大会への招致案内から始まりました。日本推進チームの方々による寸劇も交えたユニークなステージは会場の我々に「是非行ってみたいなー」と思わせるには十分な内容のものでした。その後「退会防止とクラブの持続的成長」「ポリオ根絶に向けて」等の盛りだくさんのセッションで各地から集まったロータリアンの方々の「生の思い」に触れることが出来ました。

個人的な日程の関係で閉会までは参加することが出来ませんでした。会場に着席の間、様々の刺激的な情報を得、ロータリーに対する意識を新たにすることが出来たのは自分にとって得がたい経験だったと思います。本来、この研究会は各地区のガバナーをはじめとしたロータリーリーダーの方々のみが出席対象者であったと言うことですが、近年、地区委員会担当者等にも門戸を広げ、より多くのロータリアンにRI についての情報を提供するようになったそうです。この会合に参加して「雲の上」と感じていたRIについて身近に感じる事が出来、今後自身のロータリー活動に対し「ヒント」を頂いた思いです。

今回参加させて頂いたことに感謝申し上げますとともに、今後機会があれば多くの方々に参加をお勧めしたいと思います。ありがとうございました。



ロータリー研究会報告

第2830地区ロータリー財団委員長として参加して

ロータリー財団委員長 工藤 真人
(青森RC)

2025ロータリー研究会に、第2830地区ロータリー財団委員長として初めて参加いたしました。
多くの学びがありましたが、私の心を最も強く動かしたのは、間違いなく「ウクライナの子どもたちの感謝の声」でした。

RI会長の挨拶は素晴らしく、ロータリーの精神を力強く語る言葉に深くうなずきながら聞いていました。
しかしその後に紹介された、ウクライナ支援の報告は、胸の奥を掴まれるような衝撃でした。

爆撃の音が響く街で暮らす子どもたち。家族と離れ離れになり、不安の中で過ごしてきた子どもたち。そんな彼らが、日本のロータリアンから届いた支援に対して、「日本のみなさん、ありがとう」「忘れません」と語る映像が流れた瞬間、息が震え呼吸が止まるほど胸が熱くなりました。

その言葉は、単なる“ありがとう”ではなく、命を守られた子どもが未来を信じ直したときの、あの震えるような声でした。遠く離れた国で、名前も顔も知らない子どもたちの人生に、私たちの行動が確かに届いている。その現実を突きつけられた瞬間、私は思いました。「財団の活動は、書類や数字では測れない。

「これは 希望をつないでいる活動 なのだ」と。

研究会で学んだ補助金の制度や寄付推進の仕組みも重要です。しかし、それ以上に大きな気づきは、“支援の先には、確かに誰かの涙があり、笑顔があり、生きていてよかったという感情があるという事実”でした。

私は、この想いを胸に、第2830地区の財団活動をこれまで以上に情熱を持って進めていく決意です。寄付ゼロクラブの解消も、補助金事業の活性化も、その先には必ず救われる誰かがいる。そう信じています。初めて参加した研究会でしたが、私にとって人生観が揺さぶられるほど深い「原点への気づき」と「未来への使命感」を与えてくれた時間となりました。



委員会活動

ポリオワクチン投与活動 2025 IN パキスタンカラチ

ポリオプラス委員長 木皮 美賀

(五所川原イヴニングRC)

まずは、パキスタン北部水害災害に沢山の支援物資のご協力をして頂き、お礼申し上げます。合計44個(小さい物は、2個をくっつけさせていただきました)2630 地区の参加メンバーが、カラチまで運び、カラチから1600kmのイスラマバードまでトラックで運んで頂きました。11月15日、無事到着したと一報ありました。皆様のお心が届けられて、安堵しています。ありがとうございました。感謝の気持ちでいっぱいです。

今回の活動は、11月8日～12日までで、カラチでの活動となりました。

2630 地区メンバーは、団長 成田PG、柴田国際奉仕委員長、坂本ポリオプラス副委員長、小林幹夫ガバナ補佐、竹島平和フェローシップ委員長、横濱敬子さん、木皮の7名のメンバーです。

11月8日 青森空港7時40分発、羽田へ。バンコクを経由してカラチに22時25分到着。15時間の旅となりました。時差は4時間。バンコク入国の際、横濱さんが携帯を手荷物検査場に置き忘れ事件が発生し入国後気付、大騒ぎとなりました。無事、手元に戻り一安心。珍道中の始まりでした。

11月9日9時30分 ホテル出発。12時3分カラチ発、ペシャワード行き(48時間かけて走る)の列車の中でのワクチン投与活動です。私たちは、ハイドラバードまでの3時間の活動です。16両編成の列車で、列車にはドアがなく、通路、連結部にまで人が溢れています。エアコンもなく、人をかき分けながら、体感よろしく踏み張りながら子供をみつけてワクチン投与しました。危険も伴うので、活動中、警察はずっとついていますが、列車での活動時は更に、軍の方に護衛していただきました。銃を携えて私達より、多い人数の護衛です。ここで、第2のトラブル発生!! 汽車が故障し2時間ほどの停車となりました。車内アナウンスもなく、ただただ待つこと2時間。パキスタン人は大らかというか、気が長いというか、、、竹島さんの楽しい卓話が始まり、2時間楽しく過ごせました。ハイドラバードまで5時間かけて到着し、バスに乗り大きなインダス川を渡ってホテルへの帰路へ。

11月10日 まずは、難民キャンプの集落での個別訪問活動。昨年も訪れましたが、開発のため、立ち退きでかなり集落は小さくなっていました。次は、ヒンズー教徒が一つの集落を作っている村への個別訪問です。この人たちは働き者が多く、野菜を作り、それを売り、男性は働きに出ている。電気はきており3か所の井戸があり、70m掘ると飲み水に利用できる水がでる。ここで、汲み上げるポンプと配管が5万円くらいでできる。皆さん!! 水プラントへのご協力はいがでしょうか!!!

最後は、高速道路のバスストップでの投与活動。ここは、必ず、荷物検査のため、止められる場所で、止まっている間に、すばやくバスに乗り込み、子供を見つけて、ワクチン投与します。年間1000台、100万人が通過する場所で、今回1時間半の活動で240人の子供に投与できました。ここでは、成田PGが大活躍です!! 慣れた手つきでどんどん投与していきます。今までで一番働いたと、本人談。

11月11日 まずは、母子リソースセンター訪問。ここでは、1000人のワーカーさんがいる。ワーカーさんのお給料は1日8時間働いて、4週間でお給料が¥21,000で、WHOの傘下なので、保証もしっかりしている。ロータリーでやっている、リソースセンターで2日間勉強する。このワーカーさんの活躍でワクチン投与

は支えられている。

ポリオ活動費の9%はワクチン代で、40%がワーカーさんの人件費+ワクチン保管費用になっている。

その後、お昼頃、カラチRC の例会にメーキャップさせていただきました。ポリオプラスのトップのアジスさんともお会いしました。活動は終了し、18 時ホテルをチェックアウトし、青森への帰路に。

ここに、全部書ききれませんが、詳しくは財団セミナーや卓話などで是非、お話をさせて頂きたいと思います。この報告で、少しでも、ポリオ活動に興味をもって頂き、活動に協力していただけると幸いです。ポリオプラスへの寄付、また、パキスタンでのワクチン投与活動への参加、よろしくお願いいたします。





各クラブの動き

黒石ロータリークラブ 「健康長寿を目指して気軽に健康チェックをしよう!!」 活動報告

このたび、黒石ロータリークラブでは10月5日に地域住民の健康意識向上と「健康長寿」の実現を目指し、「健康長寿を目指して気軽に健康チェックをしよう!!」と題したイベントを開催いたしました。本イベントは、参加者が全10項目の簡単な診断を通じて、ご自身の健康度合を知り、今後の食生活や生活スタイルの見直し、より健康で長生きできるようなきっかけづくりとすることを目的としています。

イベント開催にあたり、事前に津軽新報・東奥日報への折込チラシで、市民向けに広く告知を行いました。その結果、当日は開催時間前からすでに会場入り口付近に参加者が集まり、健康への関心の高さが伺えました。開始後も来場者が途切れることはなく、合計参加者数は約120人にのぼり、盛況のうちに終えることができました。

参加者の年齢層は主に60～80代と高齢層が中心で、特に女性の参加者が多く見られました。来場は全体的に午前中から正午にかけて集中しましたが、若年層の方は比較的午後に参加される傾向にありました。会場では、ロータリアンが一人ずつ以下の10項目を担当し、それぞれ専用の機器を使いながら多角的な健康チェックを実施しました。

- ①心電図付き血圧計(初期段階の心房細動の発見に役立つ)
- ②ベジチェック(野菜接種レベルと推定野菜接種量を測定)
- ③血管年齢(血管の老化度合いを採点し表示)
- ④最終糖化物質(AGEsセンサ)(血液採取なしで体内の老化物質を計測)
- ⑤握力(運動パフォーマンス向上や認知症予防などへの期待)
- ⑥立ち上がりテスト(下肢筋力低下を測定)
- ⑦骨健康測定(超音波で骨の強さを測定)
- ⑧脳年齢測定器(簡単な数字テストで脳年齢を測定)
- ⑨ストップウォッチ(体内時計の測定)
- ⑩自律神経チェック(指をセンサーに挟み自律神経バランスを測定)



10項目すべてを終えるには約40分を要し、特に⑩の自律神経チェックは最も診断に時間がかかる項目となりました。受付業務は終日事務局が担当したほか、午前中のみ当クラブの交換留学生であるダニエル・ヴォンフィリオが担当し、円滑なイベント運営に貢献しました。

今回のイベントは、参加されたすべての皆様にとって、健康長寿に向けた一歩を踏み出す良い機会となったことを心より願っております。



各クラブの動き

むつロータリークラブ創立65周年記念式典・祝賀会・記念事業

むつロータリークラブ 幹事 白濱 憲一

当初、創立65周年関連の行事は行わない予定でしたが、田中パストガバナーが十和田RCさんの創立65周年に出席した直後の観桜会の時、「うちのクラブも65周年やろう!」という言葉が発端に実行委員会が発足しました。

記念式典が行われたのは地区大会の一週間後の11月1日。米谷ガバナーをはじめたくさんのロータリアンの方々にお疲れの中、またお忙しい中、遠路むつ市にお越しいただきました。記念講演は、今年の全日本ロータリー親睦合唱祭でお声を掛けてもらった縁から、むつ市出身で日本橋ロータリークラブ会員の室舘勲様にお願ひし、働く意義を学んだ学生を数多く全国に輩出しているなどの話をさせていただきました。

また、祝賀会では田中年度の地区大会の時に予算オーバーになってしまった経験から、「今回はマグロはやめようか!?’という話も出ましたが、むつRCと言ったらマグロの解体ショーを期待されている方も多いと思ひ、ご用意させていただきました。

そして翌日には、記念事業として『ユニバーサル野球INむつ』を開催しました。2年前に初めて青森県内で開催し前回はサポート役でしたが、今回は主催者として行いました。障害児入所施設の生徒、小学校野球クラブ、高校硬式野球部、そして我々ロータリアンが老若男女、障害の有る無し係らず入り混じって同じフィールドで戦いました!決勝戦には下北ジュニアオーケストラの応援演奏で大変盛り上がり、プレイヤーそして応援の保護者の方々の喜んでいる表情がとても印象に残りました。今後も継続的にユニバーサル野球を開催したいと思います。

皆様のおかげをもちまして創立65周年記念行事を大過なく行うことが出来ました。今後70周年、75周年そして100周年を目指し、奉仕の理想を胸に会員一同ロータリー活動を楽しみつつ、地域に根差した活動を積み重ねていく所存です。今後とも皆様からのご指導、ご鞭撻を宜しくお願ひ申し上げます。



祝辞を述べる米谷ガバナー



記念講演の室舘氏



マグロの解体ショー



ユニバーサル野球 IN むつ



下北ジュニアオーケストラ

各クラブの動き

八戸西ロータリークラブ創立10周年記念式典・祝賀会

創立10周年式典実行委員長 大島 泰雅

2016年7月が八戸西ロータリークラブの認証月であり、今年度は創立10周年の節目となり、11月8日に八戸プラザホテルアーバンホールにて記念式典と祝賀会を開催いたしました。

式典に先立ち、元検事総長の林眞琴氏を講師にまねき、「ビジネスと人権」、「ダイバーシティとトランプ2.0」と題した特別講演会を開催。公開講演として多数の市民にご参加いただき参加者は約300名とアーバンホールは熱気にあふれました。講演内容は時事問題にからめて、難しい話をやさしくやさしいことを深く、長く法曹界でご活躍なさった知見を1時間半にわたりご教授いただきました。

記念式典では来賓として米谷ガバナーのほか、花田副ガバナー等など歴代パストガバナーをはじめに、特別講演いただいた林眞琴氏など総勢149名の多くの方々にご参加いただきました。

宮下青森県知事からのビデオメッセージに続き、米谷ガバナー、八戸中央ロータリークラブの小林肇様(当クラブ特別代表)から心温まる祝辞をいただき、クラブ員一同、10年の歩みに皆様からいただいたご厚情に感謝の念を新たにいたしました。

また、記念式典の直前に入会した3名の新会員に米谷ガバナーからロータリーバッジの授与を行い、続いて工藤初代会長にスポンサー会員数34名の功労に特別表彰を行いました。

祝賀会では、開宴前に八戸杵研賛会様のえんぶり披露をいただき会場は凜とした雰囲気になって、えんぶり組の皆様をバックにして熊谷八戸市長から祝辞を頂戴しました。成田ガバナーエレクトの音頭による乾杯のあと、当クラブ会員によるミニ歌謡ショーもあり場の雰囲気は大いに盛り上がり、最後は名残を惜しい気持ちも強くなり、「手に手をつないで」も、いつになく皆様の手には力が入っていたようです。

当クラブ会員一同、皆様にいただいたご恩を改めて振り返り、次の10年に向けさらなる活動の充実に決意を新たにいたしました。10周年記念式典開催にご協力いただいたすべての皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。





八戸ロータリークラブ創立70周年記念式典・ 祝賀会

日時: 2025年11月15日 場所: 八戸グランドホテル

八戸ロータリークラブ 会長 石橋 信雄

去る11月15日、八戸ロータリークラブ創立70周年記念式典、祝賀会を八戸グランドホテルにて開催いたしました。

当日は、熊谷雄一八戸市長、武輪俊彦八戸商工会議所会頭、米谷恵司ガバナーをはじめ、ご来賓、ゲスト、地区内外のロータリアンの皆様、そして姉妹クラブである台湾・基隆扶輪社23名の皆様にお越し頂きました。ご臨席に対しまして、心よりお礼申し上げます。

八戸ロータリークラブは、盛岡・青森両ロータリークラブのスポンサーのもと1955年(昭和30年)に7月に設立いたしました。この70年の間には、チリ地震や十勝沖地震そして東日本大震災という大きな災害や、記憶に新しい、世界が混乱し、パンデミックとなった新型コロナウイルス感染症がありました。幾多の混乱を乗り越え、現在も活動出来るのは、国を超え、地域を超えて、世界中のロータリアンから頂いた支援と友情、関連する団体や会員企業そして家族の理解と協力があったからです。すべての関係者、そしてすべてのロータリーファミリーにあらためて感謝申し上げます。

ここ数年、世界は急激に変化し、ロータリーに求められることは、多様化していると考えます。地域のニーズを的確に捉え、未来に向けて、奉仕活動を展開していく必要があります。「ロータリーには力があります」それぞれの仕事を通して、八戸ロータリークラブとして、この地域に「よいことをしよう」という思いを実践して参りたいと考えます。

記念式典の前に一般市民に公開した、特別講演会を開催いたしました。「真の国際人を目指すためには～人生をもっと楽しくするコツ～」という演題でピーター・フランクル氏にご講演頂きました。300人を超える参加者のもと、大変ユニークな語り口で、国際化が進む日本で、「国際人としての心のあり方」をお伝え頂きました。

「Keep your heart open!」このアドバイスを大切にしたいと考えます。

長寿会員の接待一雄さん(満88歳)の乾杯のご発声により、祝賀会が開宴いたしました。八戸市在住のデイヴィッド・マシューズさんのバンドによるジャズ演奏、ピーター・フランクルさんの大道芸、心ばかりの食事とお酒とともに、楽しい時間を過ごすことが出来ました。多くの参加者の皆さんと一緒に「手に手つないで」を行い、終宴出来たことは、本当に感無量でした。

創立70周年にあたり、クラブバナーを「合唱土偶」より、「八幡馬」に更新いたしました。原案デザインを八

戸工大二高の生徒さんに募集し、採用いたしました。八幡馬は、南部地方に古くからある郷土玩具、民芸品であり、祝いごとや人生の節目に買い求める風習があります。来年は、午年ということもありますが、馬は古くから人の生活を支え、家族を守り、幸せを運ぶ縁起の良い動物と言われています。新たなバナーとともに、八戸ロータリークラブは次代に向けて邁進していく所存です。

結びとなりますが、創立70周年は、ひとつの道標です。この先の新たな一歩に向けて、引き続き皆様方のご指導、ご鞭撻、よろしくお願いいたします。

今後とも、八戸ロータリークラブよろしくお願いいたします。

ありがとうございました。



ピーター・フランクル氏講演会



佐々木実行委員長 式辞



接待一雄長寿会員による乾杯挨拶



イヴィッド・マッシュズバンドによるジャズ演奏



姉妹クラブ基隆扶輪社の皆さんと

クラブ公式訪問に同行して

東第1グループガバナー補佐 **百田 忠**

(野辺地RC)

7月31日(木)むつRCを始めに9月25日(木)六ヶ所RCの米谷ガバナー公式訪問に同行することが出来ました。何より米谷ガバナーのご指導と東第1グループ6クラブの会長・幹事、会員の皆様の歓迎があったの事と思います。また、事前訪問に同行いただいた前年の東第1グループガバナー補佐・東北RC蛭沢公洋様、同行を共にされた次期地区幹事長・最上伸子様、副幹事長・橘 正弘様、ロータリーの友地区代表委員・田中正子様には、慣れない私にお声を掛けていただき、感謝の気持ちで満杯です。

まずは米谷ガバナーの体力・バイタリティーと、豊富な経験・話題、6クラブへの愛情・観察力、東第1グループ6クラブ150名ロータリアンへの責任感・強さ・心地よい優しさを感じました。厳しい地区状況で、基本方針「会員増強で地区・クラブの活性化」、「地区のイノベーション8項目・出来る事から始めよう!」を掲げられ、何としても会員数1,150名達成のために精力的に地区40クラブを訪問された事と察します。微力ではありますが私なりに米谷ガバナーの手足となり、また、東第1グループ6クラブ会員相互の絆を一層深めるために残り7ヶ月汗を流したいと考えます。

1. 令和8年3月15日(日)野辺地RC60周年記念式典・祝賀会開催
2. 令和8年5月24日(日)東第1・第2グループ合同IM開催
3. 令和8年6月6日(土)六ヶ所RC30周年記念式典・祝賀会開催
4. 令和8年6月予定 七戸RC60周年記念式典・祝賀会開催

など、東第1グループの記念行事が続きます。米谷ガバナー、地区関係の皆様、会員の皆様のご協力をいただき、ガバナー補佐のお仕事を全うしたいと考えて居ります。宜しくお願い致します。

東第2グループガバナー補佐 **佐々木 紀仁**

(十和田東RC)

2025-26年度、東第2グループのガバナー公式訪問は8~9月にかけて行われました。

公式訪問では例年も同様ですが今年度も米谷ガバナーの想いが強く表れたのは、「会長幹事面談」であったと思います。地区合併が控えた重要な年度でもあり、その中で米谷ガバナーは今年度の地区会員数の目標を1,150人に設定しています。そこでガバナーは各クラブの目標設定はもちろんですが、それ以上に細則や会員構成等、クラブの現状に重点をおいて一つひとつ確認されていました。これは、これからも会員減少による地区合併の問題が常につきまとうことを懸念して、この先を見据えた際に入会数を増やすことだけを考えるのではなく、退会者を減らすために「魅力あるクラブづくり」のための健全な運営を各クラブにして頂きたいとの考えから面談内では各クラブの会長・幹事さん達へ強く問題提起と意識改革を

促していたように感じられました。また地区で各クラブの現状を把握するための取り組みとして活動計画・報告書の内容の統一を図ることも説明されていました。

クラブ協議会では、クラブ幹事の進行でクラブ委員長が今年度予定している委員会事業の説明を行いました。数年前からの流れとして、ガバナーは会長幹事面談・例会と意見の発表の場があるため、クラブ協議会では各委員会への講評・質問などはガバナー補佐の役目となっております。他地区ではガバナーが同席しないところもあるようです。とはいえ、まだまだ見識も認識も乏しい身であるため各委員会に関して気になったことなど質問や意見を述べますが、最後にはガバナーからの講評を頂いて締めて頂きました。

最後に例会ですが、ここは毎年ガバナーの人となりを知る場として、ガバナーの自己紹介を含めた内容で進行します。併せて各クラブ会員にガバナーから直接自身の考えを周知・理解してもらい今年度の各クラブの活動の指針としてもらう場でもあります。

ここは体験した方も多いでしょうから多くを語る必要は無いかと思いますが、最後に3月のPETSから公式訪問まで米谷ガバナーが示し続けている言葉を改めて紹介することで報告を終わりたいと思います。

夢なき者に理想なし、

理想なき者に計画なし、

計画なき者に実行なし、

実行なき者に成功なし。

故に、

夢なき者に成功なし。(吉田松陰)

西第1グループガバナー補佐 今 俊順

(金木RC)

2025-2026年度西第1グループのガバナー補佐を拝命しております、金木ロータリークラブ所属の今俊順(としのぶ)と申します。

私の担当クラブは7クラブでございます。

7月2日、五所川原ロータリークラブを皮切りに、7月中に6クラブ・10月に1クラブのガバナー公式に同行させていただきました。

何をすれば良いのかわからないままに、とまどいながら、会長・監事面談に始まり、クラブ協議会を行いました。自分なりにロータリーのことを少しでも勉強して知識を詰め込んでいったつもりですが、全然対応できなくて、未熟さを痛感し、ガバナー補佐の役割をはたしておりません。

ただ、集中して訪問することにより、徐々に理解し、慣れてきたところでもあります。

私がよく話させていただいたのは、マイロータリーに登録をして、活用してほしいことと、各クラブ1名増員しようとお願ひしたところでもあります。私にはそれしか言えませんでした。

改めて、ガバナー補佐の役割の重要性を認識したとこれです。

今後、すこしでもガバナーの補佐をできますよう頑張っていきたいと思います。

西第2グループガバナー補佐 小林 大眞

(弘前RC)

西第2グループ内8クラブへガバナーと共に訪問する貴重な機会をいただきましたことに感謝と御礼を申し上げます。また、各クラブでは会長・幹事をはじめ会員皆様からお気遣いを頂き暖かく気持ちもオープンに迎え入れて下さったことに重ねて感謝申し上げます。

オンラインが進むなか、対面でクラブの課題や抱負を伺うことはロータリー歴や知識・経験の浅い私にとっては大きな気づきを得ることとなりました。その場に行かなければ分からないこと、感じられないことがあります。その人に合わなければ互いに理解できないことがあります。その時に居合わせなければ共感できないことがあります。私に出来ることは皆様の話を伺うことしか出来ませんが、そのことが各クラブにおける課題解消と新たな価値創造に向けた一歩になるものと期待しております。「いつものロータリー」を少し違った視点で臨み「今日のロータリー」をより充実したものとし地域における無くてはならないクラブとしての活動とガバナーの仰る「ロータリーの不易流行」の実現に向けた皆様の内なる変化を願っております。ありがとうございました。

中グループガバナー補佐 森内 忠良

(青森RC)

今年度、米谷ガバナーに同行して各ロータリークラブを訪問する中で、米谷ガバナーが掲げるテーマである「不易流行」の意味を、現場での経験を通して改めて深く感じる機会を得ました。「不易」とは変わらない本質、「流行」とは時代に応じて変化していく姿を指します。ロータリーが長きにわたり地域に信頼され続けてきたのは、この二つの要素が絶妙な調和を保ちながら受け継がれてきたからだ実感いたしました。訪問したクラブでは、創立以来大切にされてきた例会の雰囲気や会員同士の絆、奉仕の精神といった「不易」の部分が、どこでも確かに息づいていました。会場に入った瞬間に感じる温かさや、会員の皆さまが互いを尊重しながら活動に取り組まれる姿は、ロータリーの揺るがぬ価値そのものです。この普遍的な精神は、クラブの規模に関わらず、また地域の違いを超えて、一貫して輝きを放っていました。

一方で、社会のニーズや地域の課題が変化する中、クラブごとに新しい取り組みや工夫が見られたことは、「流行」の体現だと感じています。デジタル化への対応、若い世代へのアプローチ、多様な奉仕活動の展開など、各クラブはそれぞれの地域性に合った“今の形”を模索しながら、未来を見据えて進化を続けていました。その柔軟さは、不易の精神をしっかりと抱えながら、より良いクラブを目指そうとする力強い姿勢でもあります。

米谷ガバナーのメッセージに耳を傾けられる会員の皆さまの表情は真剣で、クラブの進むべき方向を自ら

考え、仲間と共有し、行動へとつなげようとする前向きな気概が伝わってきました。米谷ガバナーの掲げる「不易流行」は、単なるテーマではなく、ロータリーの本質と未来を同時に見つめるための大切な視座であり、それを地域ごとに独自の形で表現している姿に、私は深い感銘を受けました。

今回の訪問を通じ、「変わらないもの」と「変えていくべきもの」を見極めながらクラブを運営していくことの難しさ、そしてそのバランスを大切にしているロータリアンの精神の尊さを学びました。ガバナー補佐として同行した時間は、私自身のロータリー観をより豊かにし、これからの活動の指針となる貴重な財産となりました。

今後も、不易流行の精神を胸に、各クラブがより活力ある活動を展開できるよう、微力ながらお手伝いしてまいります。訪問に際しご協力いただきましたすべてのクラブの皆さまに、心より感謝申し上げます。

南グループガバナー補佐 **小林 幹夫**

(八戸RC)

本年度の南グループにおけるガバナー公式訪問は、私が所属する八戸RCからスタートする運びとなりました。ガバナーによる公式訪問が自身のホームクラブから始まったことは、私にとって大きな意味を持ち、今後続く各クラブ訪問に際して心構えを整え、心にゆとりをもって臨むことができる契機となりました。

これまで私はメーキャップに参加する機会が多い方ではなく、各クラブの会員の皆様についてはお名前を存じ上げていたものの、正式な例会に出席するのは事前訪問を除けばほとんど初めての経験でございました。そうした状況で臨んだ今回の旅路は、私にとって大変新鮮であり、学びと刺激に満ちた貴重な機会となりました。

南部RCでは、例会後に旬のサクランボをご提供いただき、その心温まるお心遣いに触れ、地元の季節の恵みを味わう喜びを改めて感じることができました。三戸RCの夜例会では、カラオケを交えて大いに盛り上がるなど、地域の人柄や温かさを肌で感じるひとときを過ごしました。また、八戸南RCではクラブ協議会において、会員皆様から率直かつフラットな意見交換を頂戴し、クラブ運営に対する真摯な姿勢に深い感銘を受けました。

さらに、各クラブにおいては、座席の配置や進行方法、例会の雰囲気づくりに至るまで、クラブごとに独自の工夫が随所に見られ、クラブ運営の多様性と創意工夫の重要性を改めて実感いたしました。ガバナーと同行する公式訪問という立場ではありましたが、むしろ私の方が多くの学びと気づきを与えていただいたと感じております。

最後になりましたが、このたびの公式訪問において温かくお迎えくださった各クラブの会長・幹事の皆様をはじめ、会員の皆様のご配慮と真心に対し、心より厚く御礼申し上げます。今後も南グループ全体の発展のため、微力ながら尽力してまいりますので、引き続きご指導ご鞭撻のほどお願い申し上げます。

会員動向

入会者



古澤 洋子
(むつRC)
10月 28日入会



向中野 圭太
(十和田東RC)
10月 9日入会



悪原 岳
(十和田八甲RC)
10月 1日入会

退会者

クラブ名	氏名	退会日
青森	小山内 悟	10月31日
青森北東	石川 努	10月31日
八戸南 (八戸南さくらエイトR衛星)	若松 聖子	10月31日

ロータリー財団寄付



佐竹 宣俊
(七戸RC)
PHF+2



千葉 和夫
(七戸RC)
PHF+3

米山記念奨学会寄付

<米山功労者>



千葉 和夫
(七戸RC)
第2回
マルチプル



道尻 誠助
(八戸RC)
第5回
マルチプル

2025年10月会員数の増減及び出席率表

グループ	クラブ名	例会数	出席率 %	正会員数								My Rotary 登録率 %
				前月末 会員数	入会	退会	10月末 会員数	女性 会員数	期首 会員数	入会 累計	退会 累計	
東第一グループ	むつ (うち、むつ大畑) (うち、むつ八戸いちい)	3	100.00	50 (8) (0)	9 (0) (8)	0 (0) (0)	59 (8) (8)	5 (1) (1)	50 (8) (0)	9 (0) (8)	0 (0) (0)	25.42
	野辺地	4	87.95	14	0	0	14	3	14	0	0	92.86
	七戸	4	77.59	15	0	0	15	2	13	2	0	13.33
	東北	3	79.17	16	0	0	16	2	16	0	0	87.50
	むつ中央	3	61.00	20	0	0	20	0	19	1	0	10.00
	六ヶ所	4	76.00	38	0	0	38	1	36	2	0	26.32
	小 計			153	9	0	162	13	148	14	0	
東第二グループ	三沢	3	43.33	21	0	0	21	1	21	0	0	42.86
	十和田	3	35.00	32	0	0	32	7	33	2	3	31.25
	十和田東	4	44.00	28	1	0	29	5	28	1	0	48.28
	おいらせ	1	67.00	6	0	0	6	0	6	0	0	50.00
	三沢東	3	60.03	36	0	0	36	4	36	1	1	30.56
	十和田八甲	3	48.90	82	1	0	83	1	80	4	1	39.76
	小 計			205	2	0	207	18	204	8	5	
西第一グループ	五所川原	5	53.60	59	0	0	59	7	60	0	1	69.49
	金木	4	68.00	11	0	0	11	1	12	0	1	16.67
	鱒ヶ沢	2	43.80	16	0	0	16	2	16	0	0	43.75
	鶴田	3	75.00	8	0	0	8	1	8	0	0	37.50
	五所川原中央	4	60.00	24	0	0	24	2	24	0	0	50.00
	つがる	3	71.70	33	0	0	33	0	34	0	1	33.33
	五所川原イヴニング	2	36.00	25	0	0	25	7	25	0	0	56.00
	小 計			176	0	0	176	20	179	0	3	
西第二グループ	弘前	3	100.00	48	0	0	48	5	50	0	2	47.92
	弘前東	2	75.00	8	0	0	8	5	9	0	1	37.50
	板柳	2	60.00	10	0	0	10	2	8	2	0	20.00
	黒石	3	56.00	23	0	0	23	3	23	0	0	47.83
	大鰐	3	70.00	10	0	0	10	0	9	1	0	30.00
	弘前西	2	100.00	30	0	0	30	5	29	1	0	56.67
	平賀・尾上	2	27.70	9	0	0	9	0	9	0	0	33.33
	弘前アップル	2	54.00	15	0	0	15	2	15	0	0	73.33
	小 計			153	0	0	153	22	152	4	3	
中グループ	青森	4	63.90	104	0	1	103	10	104	3	4	100.00
	青森北東	2	75.70	20	0	1	19	3	20	0	1	68.42
	青森中央	2	100.00	6	0	0	6	1	6	0	0	33.33
	青森モーニング	2	73.50	21	0	0	21	4	20	1	0	61.90
	小 計			151	0	2	149	18	150	4	5	
南グループ	八戸	5	72.30	68	0	0	68	0	63	6	1	38.24
	八戸東	4	100.00	51	0	0	51	1	46	5	0	54.90
	三戸	3	85.67	7	0	0	7	1	7	0	0	85.71
	五戸	3	79.00	13	0	0	13	1	12	1	0	46.15
	南部	3	77.00	9	0	0	9	0	9	0	0	44.44
	八戸北	3	63.30	39	0	0	39	7	38	1	0	53.85
	八戸南 (うち、八戸南さくらエイト)	4	71.60	41 (11)	0 (0)	1 (1)	40 (10)	12 (10)	39 (9)	2 (2)	1 (1)	90.24
	八戸中央	2	78.30	17	0	0	17	7	11	6	0	47.06
	八戸西	4	52.90	34	0	0	34	20	34	0	0	47.06
	小 計			279	0	1	278	49	259	21	2	
合 計 40RC												

※ () 内は衛星クラブの会員数です

期首会員数は2025年6月末会員数です

7月1日の会員数は1,107名です

10月末現在の入退会人数です

地区行事予定 2025年12月／疾病予防と治療月間

月 日	曜 日	内 容	会 場
1	(月)		
2	(火)		
3	(水)		
4	(木)		
5	(金)		
6	(土)		
7	(日)	第2回ロータリー財団セミナー兼補助金管理セミナー 第3回諮問委員会、第2回ガバナー補佐（次年度）研修会 ガバナーエレクト壮行会 第16回全国青少年交換委員長会議	ホテル青森 ホテル青森 ホテル青森 ハイブリッド開催
8	(月)		
9	(火)		
10	(水)		
11	(木)		
12	(金)		
13	(土)	米山奨学生面接選考会	ホテル青森
14	(日)		
15	(月)	第1地域「地区ガバナーサポートミーティング」	Zoomオンライン
16	(火)		
17	(水)		
18	(木)		
19	(金)		
20	(土)		
21	(日)	第4回地区リーダー向けセミナー	ハイブリッド開催
22	(月)		
23	(火)		
24	(水)	アクトの翼（～28日）	台湾・台北市及び宜蘭県羅東地区
25	(木)		
26	(金)		
27	(土)		
28	(日)		
29	(月)		
30	(火)		
31	(水)		

地区行事予定 2026年1月／職業奉仕月間

月 日	曜 日	内 容	会 場
1	(木)	元日	
2	(金)		
3	(土)		
4	(日)		
5	(月)		
6	(火)		
7	(水)		
8	(木)		
9	(金)		
10	(土)		
11	(日)	ガバナーエレクト国際協議会（～15日）	米国フロリダ州オーランド
12	(月)	成人の日	
13	(火)		
14	(水)		
15	(木)		
16	(金)		
17	(土)		
18	(日)	第4回クラブサポートミーティング	Zoom
19	(月)		
20	(火)		
21	(水)		
22	(木)		
23	(金)		
24	(土)		
25	(日)	第10回全国地区ローターアクト委員長ならびに地区ローターアクト代表合同会議	ハイブリッド形式
26	(月)		
27	(火)		
28	(水)		
29	(木)		
30	(金)		
31	(土)		

みなさんのロータリー活動をガバナー月信の表紙に!写真募集!!

みなさんのロータリー活動をガバナー月信の表紙に載せてみませんか?
2024-25年度ガバナー月信同様に、各クラブでのロータリー活動を撮影した
写真で毎号の表紙を飾りたいと思います。

掲載希望の写真は、地区事務所に掲載希望月の前月15日までに写真データと
写真の内容を簡潔にまとめたものをメールでお送りください。



編集後記

12月のロータリー特別月間は「疾病予防と治療月刊」です。
暦も師走、何かと多忙になる月ですが、インフルエンザが猛威をふるっています。
ぜひ、ワクチン接種に正しい食事と質の高い睡眠が月刊テーマの疾病予防につながりますね。
さて来年の干支は午年。

「馬」で私が思い出すのは「万事塞翁が馬」です。
この故事の由来は、中国の北の国境近くに住む老人
の馬が逃げ出しましたが、数か月後に駿馬を連れて
戻ってきました。

その後、老人の息子がその馬から落ちて足を折りま
したが、それが原因で兵役を免れ戦乱から命が助か
ったという話。

なので、人生における幸不幸は予測できないものであ
り、何が「吉」とでるか「凶」と出るかは、その時々では
判断できないという意味のことわざです。

それでも私は、年末ジャンボ宝くじを買ってしまう・・・

2026年もガバナー月信をよろしくお願いします。



ガバナー月信 編集後記担当 **石川 佳共子**
(青森ロータリークラブ)